

受 験 番 号				氏 名

平成 2 0 年度第 1 回登録販売者試験問題（午前）

（平成 20 年 8 月 31 日）

兵 庫 県

指示があるまで開いてはいけません。

【注意事項】

- 1 問題及び解答用紙に、受験番号（右寄せで記入）と氏名を記入してください。

（記入例）

受 験 番 号				氏 名
		4	5	兵庫 太郎

- 2 試験時間は、午前 10 時から 12 時までの 120 分間です。
- 3 問題は、2 項目 60 問で、1 ~ 25 ページまであります。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄に鉛筆等で記入してください。
- 5 解答は、該当する答の番号を 1 つだけ記入してください。
2 つ以上記入したり、解答欄以外に記入したものは、採点されません。
- 6 解答を修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消してください。
- 7 この試験の薬事法に係る記述は、薬事法の一部を改正する法律（平成 18 年法律第 69 号）による改正後の薬事法に基づいています。
- 8 この試験の医薬品の成分の表記は、厚生労働省作成の「試験問題の作成に関する手引き（平成 19 年 8 月）」に基づいています。

医薬品に共通する特性と基本的な知識

問 1

次の記述は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法第 4 条第 6 項の条文である。() の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

なお、2 か所の (a) 内はどちらも同じ字句が入る。

この法律において「医薬品の副作用」とは、(a) が適正な (b) に従い適正に使用された場合においてもその (a) により人に発現する (c) をいう。

	a	b	c
1	一般用医薬品	使用方法	健康被害
2	許可医薬品	使用目的	有害な反応
3	一般用医薬品	使用目的	健康被害
4	許可医薬品	使用方法	有害な反応
5	一般用医薬品	使用方法	有害な反応

問 2

医薬品の本質に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 本来、医薬品は人体にとって異物であるため、必ずしも期待される有益な効果のみをもたらすとは限らない。
- b 医薬品が人体に及ぼす作用は複雑、かつ、多岐に渡るが、そのすべてが解明されている。
- c 検査薬は人体に対して使用される医薬品ではないので、人の健康に影響を与えるものとは考えられない。
- d 一般用医薬品は医療用医薬品と比べ、保健衛生上のリスクは相対的に低いと考えられるが、適正な使用が図られる必要がある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	正

問3

医薬品に対するアレルギーに関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a アレルギーを引き起こす原因物質として、黄色4号(タートラジン)、カゼインが知られている。
- b 鶏卵や牛乳にアレルギーがある人では、使用を避けなければならない医薬品がある。
- c 医薬品を使用してアレルギーを起こしたことがある人は、その医薬品に免疫ができているため、次回から使用しても問題はない。
- d アレルギーは個人の体質によるものであり、遺伝的な要素はないため、近い親族にアレルギー体質の人がいるかどうかには注意しなくてもよい。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

問4

一般用医薬品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品は、習慣性や依存性がある成分は含まれない。
- b 一般用医薬品は、作用が緩和であるため、飲食物との相互作用に注意する必要はない。
- c 医薬品の販売等に従事する専門家が、医薬品の購入者に対して十分説明すれば、購入者は、添付文書を読まなくてよい。
- d 医薬品の販売等に従事する専門家は、購入者の理解力や医薬品を使用する状況等に即して説明しなければならない。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	正
3	誤	誤	誤	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	正	誤	誤

問5

医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 生薬成分が配合された医薬品は作用が緩和であるため、食品によってその効き目が増強されることはない。
- b アレルギー用薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、かぜ薬等では、成分や作用が重複することが多く、通常、これらの薬効群に属する医薬品の併用は避けることとされている。
- c 相互作用には、医薬品が吸収、代謝、分布又は排泄される過程で起こるものと、医薬品が薬理作用をもたらす部位において起こるものがある。
- d 一般用医薬品は、購入者が自ら選択し使用するものなので、医薬品の販売等に従事する専門家は、飲みあわせについて説明をする必要はない。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	正	誤	正	誤

問6

次の記述の()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。
 なお、2か所の(a)内はどちらも同じ字句が入る。

酒類(アルコール)は、主として(a)で代謝されるため、酒類(アルコール)をよく摂取する者では、その代謝機能が(b)ことが多い。その結果、(a)で代謝される医薬品は、通常よりも代謝されやすくなり、体内から医薬品が速く消失して十分な薬効が得られなくなることがある。

また、(c)に薬効があるもの場合には、作用が強く出過ぎることがある。

	a	b	c
1	肝臓	低下している	老廃物
2	肝臓	高まっている	代謝産物
3	腎臓	低下している	老廃物
4	腎臓	高まっている	代謝産物
5	肝臓	高まっている	老廃物

問 7

高齢者等の医薬品使用に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の使用上の注意において「高齢者」という場合には、おおよそ 60 歳以上を指す。
- b 高齢者は、基礎疾患を抱えていることが多く、一般用医薬品の使用によって基礎疾患の症状が悪化する場合がある。
- c 高齢者が一般用医薬品を使用する場合、定められた用量の下限で使用していれば作用が強くなることはない。
- d 医療機関から薬をもらっている場合、医薬品の販売等に従事する専門家が医薬品について情報提供を行えば、一般用医薬品を併用することは問題ない。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	誤	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	正	正	正

問 8

小児等の医薬品使用に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 小児は大人と比べて身体の大きさに対して腸が短く、服用した医薬品の吸収率が低い。
- b 医薬品によっては、形状等が小児向けに作られていないため、小児に対して使用しないことなどの注意を促しているものもある。
- c 小児は、肝臓や腎臓などの機能が未発達であるため、作用が弱くなる傾向がある。
- d 乳児は、基本的には医師の診療を受けることが優先され、一般用医薬品による対処は最小限にとどめることが望ましい。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

問9

幼児に関する記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

医薬品の使用上の注意等において、幼児という場合には、およその目安として()未満をいう。

- 1 2歳 2 5歳 3 7歳 4 10歳 5 12歳

問10

小児等の医薬品使用に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 5歳未満の幼児に使用される医薬品では、服用時に喉^{のど}につかえやすいので注意するよう添付文書に記載されている。
- b 授乳婦が医薬品を服用した場合、吸収された医薬品が乳汁中に移行することが知られていても、通常の使用の範囲では、具体的な悪影響が判明していないものもある。
- c 胎盤には、胎児の血液と母胎の血液とが混ざらない仕組みである胎盤関門があるため、母体が医薬品を使用しても、医薬品は胎盤関門を通過せず胎児へは移行しない。
- d 小児は、大人と比べて医薬品の成分が脳に達しやすいため、中枢神経系に影響を与える医薬品で副作用を起こしやすい。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	誤	誤	正	正
3	正	誤	誤	正
4	正	正	誤	正
5	正	正	正	誤

問 1 1

妊婦の医薬品使用に関する記述について、()の中に入れるべき字句の組み合わせはどれか。

妊娠前後の一定期間に、通常の用量を超えて摂取すると、胎児に(a)を起こす危険性が高まるとされている医薬品に(b)がある。また、(c)のように、配合成分やその用量によっては、流産や早産を誘発するおそれのあるものがある。

	a	b	c
1	先天異常	ビタミンD含有製剤	便秘薬
2	後天異常	ビタミンA含有製剤	便秘薬
3	先天異常	ビタミンA含有製剤	便秘薬
4	後天異常	ビタミンD含有製剤	鎮痛薬
5	先天異常	ビタミンD含有製剤	鎮痛薬

問 1 2

プラセボ効果に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品を使用したとき、結果的又は偶発的に薬理作用によらない作用を生じることをプラセボ効果という。
- b プラセボ効果は不確実であり、それを目的として医薬品を使用するべきではない。
- c プラセボ効果は、医薬品を使用したこと自体による楽観的な結果への期待や、条件付けによる生体反応、時間経過による自然発生的な変化等が関与して生じると考えられている。
- d プラセボ効果によってもたらされる反応や変化には、望ましいものと不都合なものがある。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	誤	誤	誤	誤
5	正	正	正	正

問 1 3

医薬品の品質に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品に配合されている成分は、品質の劣化を起こさない加工がなされているので、清潔な場所であればどこに保管してもよい。
- b 「使用期限」とは、未開封の状態では保管された場合に品質が保持される期限であり、いったん開封されると記載されている期日まで品質が保証されない場合がある。
- c 一般用医薬品では、家庭における常備薬として購入されることも多いことから、使用期限から十分な余裕をもって販売等を行うことが重要である。
- d 医薬品の品質は、一般的に直射日光の影響を受けやすいが、温度や湿度に対しては安定である。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	正	誤
4	正	誤	正	誤
5	誤	誤	正	正

問 1 4

一般用医薬品の選択に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a WHOによれば、セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする」こととされている。
- b セルフメディケーションの主役は、一般用医薬品の販売等に従事する者である。
- c 一般用医薬品を一定期間使用しても、症状の改善がみられない人に対しては、医療機関への受診を勧奨することが望ましい。
- d 一般用医薬品で対処可能な症状の範囲は、妊婦であっても、通常、成人が使用する場合と変わらない。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

問 1 5

医薬品の販売等に従事する専門家が、購入者に確認すべき基本的なポイントに関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 何のためにその医薬品を購入しようとしているか。
- b その医薬品をすぐに使用する状況にあるか。
- c その医薬品を使用する人として、高齢者が想定されるか。
- d その医薬品を使用する人が、過去にアレルギーや医薬品による副作用等の経験があるか。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	誤
5	正	正	正	正

問 1 6

医薬品の販売等に従事する専門家が、一般用医薬品を販売する時の情報提供に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 購入者とのコミュニケーション技術を身につける必要がある。
- b 購入者が医薬品を使用する状況は随時変化する可能性があるため、コミュニケーションの機会が継続的に確保できるよう配慮する。
- c 購入者側に情報提供を受けようとする意識が乏しい場合は、コミュニケーションを図る必要はない。
- d 家庭における常備薬として購入される場合は、すぐに使用されないため、情報提供を行う必要はない。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

問 17

医薬品による副作用に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品は、治療効果が発揮されている間は、副作用が生じない。
- 2 副作用とは、死亡や日常生活に支障を来すような重大なものを指すのであって、眠気や口渇等の軽微なものは副作用に含まれない。
- 3 医療関係者が十分注意して医薬品を使用すれば、副作用は起こらない。
- 4 科学的に解明されていない未知の副作用が生じる場合もある。

問 18

サリドマイド製剤に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a サリドマイド製剤の中には、催眠鎮静効果のある一般用医薬品として販売されたものもあった。
- b サリドマイドは、血管新生を妨げる副作用があり、胎児の四肢欠損や心肺機能の障害等の先天異常が発生した。
- c サリドマイド製剤は、米国でアメーバ赤痢に使用が制限された時期があった。
- d サリドマイドの光学異性体のうち、鎮静作用は *R* 体のみが有するので、*R* 体のサリドマイドを分離して製剤化すれば催奇形性は避けられた。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

問 1 9

H I V 訴訟に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

H I V 訴訟は、(a)患者が、ヒト免疫不全ウイルス(H I V)が混入した原料(b)から製造された(c)の投与を受けたことにより、H I Vに感染したことに対する訴訟である。

	a	b	c
1	白血病	血漿 ^{しょう}	アルブミン製剤
2	白血病	血小板	血液凝固因子製剤
3	白血病	血小板	アルブミン製剤
4	血友病	血漿 ^{しょう}	血液凝固因子製剤
5	血友病	血小板	アルブミン製剤

問 2 0

クロイツフェルト・ヤコブ病(C J D)の原因物質として正しいものはどれか。

- 1 アメーバ
- 2 プリオン
- 3 リケッチア
- 4 ウイルス
- 5 細菌

主な医薬品とその作用

問 1

医薬品に配合される成分のうち、抗ヒスタミン成分に分類されないものはどれか。

- 1 プロメライン
- 2 フマル酸クレマスチン
- 3 マレイン酸カルビノキサミン
- 4 塩酸ジフェンヒドラミン
- 5 マレイン酸クロルフェニラミン

問 2

プロムワレリル尿素に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 服用時には、乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。
- b 解熱鎮痛成分の鎮痛作用を助けるために配合される場合がある。
- c 依存性があるので、大量購入など不審な購入者等には販売を控える。
- d 妊婦が使用すると、胎児障害の可能性がある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	誤
3	正	正	正	正
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	誤	誤

問 3

鎮^{うん}暈薬(乗物酔い防止薬)の目的から考えて、主に配合される成分でないものはどれか。

- 1 塩酸ジフェニドール
- 2 臭化水素酸スコポラミン
- 3 アミノ安息香酸エチル
- 4 無水カフェイン
- 5 ウフェナマート

問 4

呼吸器疾患で使われる医薬品の成分とその目的とする作用の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

[医薬品の成分]	[目的とする作用]
1 臭化水素酸デキストロメトルファン ……	抗炎症作用
2 塩酸メトキシフェナミン ……………	解熱鎮痛作用
3 ヒベンズ酸チペピジン ……………	去痰 ^{たん} 作用
4 トラネキサム酸 ……………	抗炎症作用
5 塩化リゾチーム ……………	抗アレルギー作用

問 5

次の鎮咳去痰^{がい たん}薬に配合される成分のうち、気管支を拡げることを目的とするものはどれか。

- 1 ハンゲ
- 2 塩酸プロムヘキシン
- 3 グアイフェネシン
- 4 塩酸エチルシステイン
- 5 塩酸トリメトキノール

問 6

鎮咳去痰^{がい たん}薬として用いられる漢方処方製剤のうち、カンゾウを含まないものはどれか。

- 1 麻^ま杏^{きょう}甘^{かん}石^{せき}湯^{とう}
- 2 五^ご虎^こ湯^{とう}
- 3 麦^{ばく}門^{もん}冬^{どう}湯^{とう}
- 4 柴^{さい}朴^{ぼく}湯^{とう}
- 5 半^{はん}夏^げ厚^{こう}朴^{ぼく}湯^{とう}

問7

呼吸器疾患に用いられる生薬成分とその生薬の素材(基原)の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

[生薬成分]	[生薬の素材(基原)]
1 キョウニン ……………	キキョウ科のキキョウの根
2 シャゼンソウ ……………	ユリ科のジャノヒゲの根の膨大部
3 オウヒ ……………	バラ科のヤマザクラの樹皮
4 セキサシ ……………	ヒメハギ科のセネガの根
5 バクモンドウ ……………	オオバコ科のオオバコの花期の全草

問8

次の医薬品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a リン酸コデインは、副作用として便秘が現れることがある。
- b リン酸コデインは、長期連用することで薬物依存につながるおそれがある。
- c リン酸ジヒドロコデインは、胎盤関門を通過しないので、胎児へ移行することはない。
- d 塩酸メチルエフェドリンは、麻薬性鎮咳^{がい}成分である。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	正	誤	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	正	誤

問9

次の医薬品のうち、中和反応によって胃酸の働きを弱めることを目的としたものはどれか。

- 1 炭酸水素ナトリウム
- 2 グリチルリチン酸ナトリウム
- 3 ケイヒ
- 4 ロートエキス
- 5 ジメチルポリシロキサン

問 1 0

腸に用いられる医薬品に含まれる成分に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 硫酸ナトリウムは、心臓病を悪化させるおそれがある。
- 2 次没食子酸^{もつしよくし}ビスマスは、1週間以上継続して使用しない。
- 3 塩酸ロペラミドが配合された止瀉薬^{しや}は、食あたりによる下痢が適用対象となる。
- 4 酸化マグネシウムは、腎臓病の診断を受けた人では、高マグネシウム血症を生じるおそれがある。

問 1 1

次の医薬品の服用方法のうち、適当なものはどれか。

- 1 炭酸水素ナトリウムを含む製剤を、炭酸飲料で服用した。
- 2 鉄を含む製剤を、緑茶で服用した。
- 3 ビサコジルを含む腸溶製剤を、牛乳で服用した。
- 4 ビスマスを含む製剤を、アルコールで服用した。
- 5 カルメロースナトリウムを含む製剤を、多量の水で服用した。

問 1 2

次の強心薬に用いられる成分のうち、有効域(治療濃度域)が比較的狭いため、一般用医薬品では1日用量が5 mg 以下となるよう用法・用量が定められているものはどれか。

- 1 ロクジョウ
- 2 センソ
- 3 シンジュ
- 4 ニンジン
- 5 ゴオウ

問 1 3

高コレステロール改善薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a リノール酸は、末梢組織におけるコレステロールの吸収を抑える働きがある。
- b 大豆油不^{けん}飽和化物(ソイステロール)は、肝臓におけるコレステロールの代謝を促す効果を期待して用いられる。
- c ビタミンEは、コレステロールから過酸化脂質の生成を抑える作用があるとされる。
- d パンテチンは、肝臓におけるコレステロール代謝を正常化する働きがあるとされ、LDL(低密度リポ^{たん}蛋白質)を増加させる効果を期待して用いられる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	誤	正	誤
5	誤	誤	誤	誤

問 1 4

生活習慣改善に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 食事から摂取した糖からコレステロールは産生されないので、糖質を多く含む食品の摂取を控える必要はない。
- 2 生活習慣病のリスクの目安として、胸囲を測定する。
- 3 高コレステロール改善薬をしばらくの間使用しても改善が認められない場合、遺伝的又は内分泌的要因も疑われる。
- 4 高コレステロール改善薬は、結果的に生活習慣病の予防につながることから、^{そう}痩身効果を目的とした医薬品として用いられる。

問 1 5

貧血用薬の配合成分とその作用に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 銅は、鉄の代謝や輸送に重要なため、補充した鉄分を利用してヘモグロビンが産生されるのを助ける目的で配合される。
- 2 コバルトは、赤血球ができる過程で必要不可欠なビタミンEの構成成分であり、骨髄での造血機能を高める目的で配合される。
- 3 ビタミンCは、消化管内で鉄が吸収されやすい状態(ヘム鉄)に保つことを目的として配合される。
- 4 マンガンは、糖質・脂質・蛋白質^{たん}の代謝をする際に働く酵素の構成物質であり、エネルギー合成を促進する目的で配合される。

問 1 6

ユビデカレノンに関する記述のうち、正しいものはどれか

- 1 エネルギー代謝に関与する酵素の働きを助ける成分で、ビタミンKとともに働く。
- 2 心筋の酸素利用効率を高めて収縮力を高めることによって、血液循環の改善効果を示す。
- 3 成人では、中程度から高度な心疾患による動悸^き、息切れ、むくみの症状に用いられる。
- 4 肝臓や心臓にはほとんど存在しない。

問 1 7

次の外用痔疾用薬^じの成分のうち、止血効果を期待して配合されているものはどれか。

- 1 塩酸プロカイン
- 2 マレイン酸クロルフェニラミン
- 3 酢酸プレドニゾロン
- 4 塩酸ナファゾリン
- 5 塩化リゾチーム

問 1 8

痔疾用薬を使用する際の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 痔疾用薬のうち坐剤及び注入軟膏は外用なので、成分が直腸で吸収されて循環血流中に入ることはない。
- b 痔疾用薬を使用していれば、生活習慣を改善する必要はない。
- c 一定期間使用しても症状が改善しない場合、肛門癌などの重大な病気の症状である可能性も考えられる。
- d 肛門部はもともと多くの細菌が存在しているが、血流量が乏しいため、それらの細菌によって感染症を生じることほとんどない。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	誤	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	正	正	正

問 1 9

次の生薬成分のうち、尿路の殺菌消毒効果を期待して用いられるものはどれか。

- 1 キササゲ
- 2 ブクリョウ
- 3 ウワウルシ
- 4 カゴソウ
- 5 サンキライ

問 2 0

次の女性ホルモン成分に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 女性ホルモン含有薬は、一般用医薬品では、^{ちつ}腔粘膜又は外陰部に適用されるもののみ認められている。
- b エチニルエストラジオール、エストラジオールの長期連用により、出血傾向を生じるおそれがある。
- c 女性ホルモンを含有した外用薬は、内服薬と異なり、成分が局所に留まって作用し全身血液中に移行することはほとんどないのが特徴である。
- d 妊娠中の女性ホルモン成分の摂取によって胎児の先天性異常の発生が報告されている。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

問 2 1

婦人用薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 内服で用いられている婦人用薬は、通常、複数の生薬成分が配合されている場合が多い。
- b 漢方処方製剤の婦人用薬は、比較的作用が穏やかで、副作用も特に心配ない。
- c 「痔^じの薬」と「更年期障害の薬」は影響し合わないので、同時に服用しても構わない。
- d 婦人用薬は、月経及び月経周期に伴って起こる症状を中心として、女性に現れる特有な諸症状の緩和と保健を目的とした医薬品である。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	正	正	誤	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	正	正	誤

問 2 2

婦人用薬として用いられる漢方処方製剤のうち、比較的体力がある人に適用されるものであって、ダイオウを含むものはどれか。

- 1 加味逍遙散
かみしょうようさん
- 2 桂枝茯苓丸
けいしぶくりょうがん
- 3 柴胡桂枝乾姜湯
さいこけいしかんきょうとう
- 4 当帰芍薬散
とうきしゃくやくさん
- 5 桃核承気湯
とうかくじょうきとう

問 2 3

抗ヒスタミン成分に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 抗ヒスタミン成分は、ヒスタミンの働きを抑える作用以外に抗コリン作用も示す。
- b ヒスタミンの働きが抑えられると不眠になるおそれがある。
- c 塩酸ブソイドエフェドリンは、抗ヒスタミン成分として用いられる。
- d メキタジンは、重篤な副作用として、まれにショック、肝機能障害、血小板減少を生じることがある。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

問 2 4

次の医薬品のうち、鼻粘膜の血管を収縮させることによって鼻粘膜の充血や腫れを和らげることを目的として配合されるものはどれか。

- 1 ベラドンナ総アルカロイド
- 2 グリチルリチン酸二カリウム
- 3 塩酸フェニレフリン
- 4 サイシン
- 5 塩酸ジフェンヒドラミン

問 2 5

アレルギーに関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 外から体内に侵入した異物を抗体と言い、その物質を特異的に認識した抗原によって肥満細胞が刺激を受け、ヒスタミン等の物質が遊離する。
- b 肥満細胞は、特に皮膚・肺・消化管・肝臓に存在し、免疫機構の一端を担う。
- c アレルギー用薬に配合されている塩酸メチルエフェドリンは、依存性がある。
- d アレルギー用薬は、プロスタグランジンの働きを抑える作用を示す成分を主体に配合されている。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

問 2 6

次の表は、ある鼻炎用点鼻薬に含まれている成分の一覧である。
この薬に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

100mL 中
マレイン酸クロルフェニラミン 500mg
塩酸ナファゾリン 50mg
塩化ベンザルコニウム 20mg
リドカイン 300mg

- a マレイン酸クロルフェニラミンは、ステロイド性抗炎症作用を示す。
- b 塩酸ナファゾリンは、血管を収縮させることにより、鼻粘膜の充血や腫れ^はを和らげる作用がある。
- c 塩化ベンザルコニウムは、殺菌消毒作用を示し、細菌、ウイルスに効果がある。
- d この点鼻薬は、過度に使用すると、かえって鼻づまりがひどくなりやすい。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

問 2 7

点眼薬の扱い方に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 点眼の際には、容器の先端をまぶたにつけて薬液が確実に目の中に入るようにするとよい。
- b 点眼後は、数秒間まぶたを閉じ、目頭を軽く押さえるとよい。
- c 一般用医薬品の点眼薬には、緑内障の症状を改善できるものはない。
- d ハードコンタクトレンズは吸着のおそれがないので、短期間なら装着したままで点眼してもかまわない。

1 (a、 b) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (c、 d)

問 2 8

点眼薬の成分に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a メチル硫酸ネオスチグミンは、毛様体におけるアセチルコリンの働きを助けて、目の調節機能を改善する効果を目的としている。
- b フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウムは、アミノ酸の代謝や神経伝達物質の合成に関与している。
- c 酢酸トコフェロールは、血流を改善する作用を示す。
- d コンドロイチン硫酸ナトリウムは、目の調節機能を改善する目的で配合されている。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

問 2 9

ケトプロフェンに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 筋肉痛、関節痛、打撲等による鎮痛等を目的として用いられる。
- 2 重篤な副作用であるアナフィラキシー様症状を生じることがある。
- 3 抗ヒスタミン成分としても配合される。
- 4 ケトプロフェンが配合された外皮用薬は、副作用として紫外線により重篤な光線過敏症が現れることがある。

問30

グリチルリチン酸二カリウムに関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 化学構造がステロイド性抗炎症成分と類似している。
- b 大量に摂取すると、偽テストステロン症を生じるおそれがある。
- c 1日最大服用量がグリチルリチン酸として40mg以上となる製品については、医師又薬剤師に相談する等、慎重な使用が必要となる。
- d 医薬品にのみ使用が認められている。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

問31

歯槽膿漏^{そのうろう}薬に含まれている成分と配合目的に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

	成分	配合目的
a	グリチルリチン酸二カリウム	歯周組織の修復を促す
b	アラントイン	歯周組織の出血を抑える
c	ヒノキチオール	歯肉溝での殺菌消毒と抗炎症作用
d	塩化セチルピリジニウム	歯肉溝での殺菌消毒作用

1 (a、 b) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (c、 d)

問32

次の医薬品の成分のうち、関節痛や筋肉痛を改善する目的で使用されるものであって、軟骨組織の主成分に由来するものはどれか。

- 1 グルクロノラクトン
- 2 ヘスペリジン
- 3 システイン
- 4 コンドロイチン硫酸ナトリウム
- 5 ガンマ-オリザノール

問 3 3

滋養強壯保健薬に含まれているビタミンの副作用に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 ビタミンAは下垂体や副腎系に作用してホルモン分泌の調節に関与しているため、その過剰摂取により生理が早まったり経血量が多くなったりすることがある。
- 2 ビタミンDの過剰摂取により高カルシウム血症になる可能性があり、その初期症状としては便秘、嘔吐、腹痛等がある。
- 3 ビタミンB₆の過剰摂取により、口角炎、口内炎、湿疹、手足のしびれなどが起こることがある。
- 4 ビタミンEの過剰摂取により、歯ぐきや鼻粘膜から大量の出血を引き起こすことがある。

問 3 4

腹部に皮下脂肪が多くて便秘がちな人における高血圧の随伴症状(動悸、肩こり、のぼせ)に適し、構成生薬としてカンゾウ、マオウ、ダイオウをすべて含む漢方処方製剤はどれか。

- 1 清上防風湯
- 2 大柴胡湯
- 3 防風通聖散
- 4 防己黄耆湯
- 5 黄連解毒湯

問 3 5

一般用医薬品のうち、人体(手指、皮膚)の殺菌消毒に通常用いない殺菌消毒成分はどれか。

- 1 次亜塩素酸ナトリウム
- 2 グルコン酸クロルヘキシジン
- 3 イソプロパノール
- 4 エタノール
- 5 塩酸ポリアルキルポリアミノエチルグリシン

問36

殺菌消毒成分に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a エタノールは、結核菌を含む一般細菌類、真菌類に対する殺菌消毒作用を示す。
- b オキシドールは、過酸化水素を成分とし、発生する酸素の酸化作用によって殺菌効果を示す。持続性もあり応急処置として用いるとよい。
- c ポビドンヨードは、ヨウ素に対しアレルギーの既往歴のある患者には使用しない。
- d グルコン酸クロルヘキシジンは比較的広い殺菌消毒作用を示し、結核菌やウイルスにも効果がある。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

問37

消毒薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 消毒薬は成分や濃度にかかわらず、全て医薬品としてのみ製造販売されている。
- b ウイルスに対して有効な消毒薬はない。
- c 微生物の中には、条件により消毒薬の溶液中で生存・増殖するものがある。
- d 有機塩素系殺菌消毒成分は、金属腐食性が極めて高い。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	誤	正
4	誤	誤	正	誤
5	正	誤	誤	正

問 3 8

次の殺虫剤の成分のうち、コリンエステラーゼ阻害作用を有するものはどれか。

- 1 ペルメトリン
- 2 フェノトリン
- 3 ジクロルボス
- 4 オルトジクロロベンゼン
- 5 メトプレン

問 3 9

尿^{たん}蛋白検査薬の検体に関する注意の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 出始めの尿を使わず中間尿を検体とする。
- b 早朝尿(起床直後の尿)を検体とする。
- c 採尿 1 時間後の尿を検体とする。
- d 食後 1 ~ 2 時間の尿を検体とする。

1 (a、 b) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (c、 d)

問 4 0

強心薬に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 センソが配合された内服固形製剤は、よく噛み^か砕いて服用する。
- 2 ジャコウは、直接心筋に作用せず、強心作用を発揮する。
- 3 ゴオウは、末梢血管を拡張させ、血圧降下作用がある。
- 4 リュウノウは、興奮を静める作用がある。

受 験 番 号				氏 名

平成20年度第1回登録販売者試験問題（午後）

（平成20年8月31日）

兵 庫 県

指示があるまで開いてはいけません。

【注意事項】

- 1 問題及び解答用紙に、受験番号（右寄せで記入）と氏名を記入してください。

（記入例）

受 験 番 号				氏 名
		4	5	兵庫 太郎

- 2 試験時間は、午後1時から3時までの120分間です。
- 3 問題は、3項目60問で、1～29ページまであります。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄に鉛筆等で記入してください。
- 5 解答は、該当する答の番号を1つだけ記入してください。
2つ以上記入したり、解答欄以外に記入したものは、採点されません。
- 6 解答を修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消してください。
- 7 この試験の薬事法に係る記述は、薬事法の一部を改正する法律（平成18年法律第69号）による改正後の薬事法に基づいています。
- 8 この試験の医薬品の成分の表記は、厚生労働省作成の「試験問題の作成に関する手引き（平成19年8月）」に基づいています。

人体の働きと医薬品

問 1

人体の構造に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

なお、2か所の(a)(b)内はどちらもそれぞれ同じ字句が入る。

ヒトの体は、(a)が集まって構成されており、関連する働きを持つ(a)が集まって(b)を作り、複数の(b)が組み合わせられて一定の形態を持ち、特定の働きをする(c)が形成される。

	a	b	c
1	細胞	器官	組織
2	組織	細胞	器官
3	器官	組織	細胞
4	組織	器官	細胞
5	細胞	組織	器官

問 2

腎臓に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 腎臓に入る動脈は細かく枝分かれして、毛細血管がボウマン嚢^{のう}を形成する。
- b 尿細管では、原尿中のブドウ糖やアミノ酸等の栄養分及び血液の維持に必要な水分や電解質が再吸収される。
- c 腎臓には、心臓から拍出される血液の1/5～1/4が流れている。血液中の老廃物の除去のほか、水分及び電解質(特にナトリウム)の排出調節が行われている。
- d 腎臓は、内分泌腺^{せん}としての機能もあり、骨髓^{ずい}における赤血球の産生を促進するホルモンを分泌する。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	誤	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	正	正	誤	誤

問3

大腸に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 盲腸、虫垂、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸からなる管状の臓器である。
- 2 大腸の腸内細菌は、血液凝固や骨へのカルシウム定着に必要なビタミンK等を産生している。
- 3 腸内細菌による発酵により、糞便の臭気の原因となる物質やメタン、二酸化炭素等のガスが生成される。
- 4 大腸には内壁粘膜に絨毛^{じゅうもう}があり、大腸管内で水分やナトリウム等の電解質の吸収が行われる。

問4

消化器系に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 消化液に含まれる消化酵素の作用によって飲食物を分解することを機械的消化という。
- 2 唾液^たには、デンプンをアミノ酸に分解する消化酵素が含まれる。
- 3 胃では、胃の粘膜表皮を覆う細胞から粘液が分泌され、胃液による消化作用から胃自体を保護している。
- 4 血糖値を調節するホルモン(インスリン、グルカゴン)等は、胆嚢^{のう}から血液中に分泌される。

問5

肝臓に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 小腸で吸収されたブドウ糖をグリコーゲンとして蓄えている。
- 2 脂溶性ビタミンであるビタミンA、D等や、水溶性ビタミンであるビタミンB₆、B₁₂等の貯蔵臓器である。
- 3 アルコールは、胃や小腸で吸収され、酢酸に代謝されたのち、さらに代謝されてアセトアルデヒドとなる。
- 4 ヘモグロビンが分解して生じたビリルビンを代謝する。

問6

呼吸器系に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 呼吸器系は、鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺からなり、鼻腔から気管支までの呼気及び吸気の通り道を気道という。
- b 鼻腔の内壁には粘液分泌腺が多く分布し、鼻汁を分泌する。鼻汁にはリパーゼが多く含まれ、気道の防御機構の一つとなっている。
- c 扁桃はリンパ組織が集まってできていて、気道に侵入してくる細菌、ウイルス等に対する免疫反応が行われる。
- d 肺自体には肺を動かす筋組織がないため、自力で膨らんだり縮んだりするのではなく、横隔膜や背筋によって拡張・収縮して呼吸運動が行われている。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

問7

循環器系に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 血液が血管中を流れる方向は一定しており、心臓から拍出された血液を送る血管を動脈、心臓へ戻る血液を送る血管を静脈という。
- 2 心臓の左側部分(左心房、左心室)は、全身から集まってきた血液を肺へ送り出す。
- 3 脾臓は、血液から古くなった赤血球を濾し取って処理するスポンジ状の臓器である。
- 4 消化管壁を通っている毛細血管の大部分は、門脈と呼ばれる血管に集まって肝臓に入る。

問 8

血液に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 血液は、血漿^{しょう}と血球からなり、酸素や栄養分を全身の組織に供給し、二酸化炭素や老廃物を排泄器官へ運ぶ。
- b グロブリンは、血液の浸透圧を保持する働きのほかに、ホルモンや医薬品の成分と複合体を形成する。
- c 血小板は、体内に侵入した細菌やウイルスの異物に対する防御を受け持つ細胞である。
- d アルブミンは、免疫反応において、体内に侵入した細菌やウイルス等の異物を特異的に認識する抗体としての役割を担う。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	正	誤	誤

問 9

目に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 角膜と水晶体の間は、房水で満たされ、角膜に眼圧を生じさせている。透明な角膜や水晶体には血管が通っておらず、房水によって栄養分や酸素が供給される。
- b 水晶体は、周りを囲んでいる毛様体の収縮・弛緩によって、遠くの物を見るときには丸く厚みが増し、近くの物を見るときには扁平^{へん}になるよう調節される。
- c 視細胞には、色を識別する細胞と、わずかな光でも敏感に反応する細胞の二種類がある。後者が光を感じる反応にはビタミンEが不可欠である。
- d 結膜の充血は、白目の部分のみが赤くなり、眼瞼^{けん}の裏側は赤くならない。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	正	正
4	正	誤	正	正
5	誤	誤	誤	正

問 1 0

鼻及び耳に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 においを感じる嗅細胞は、鼻腔下部である鼻の入り口に多く存在し、長時間同じにおいを嗅いでいると次第にそのにおいを感じなくなる。
- 2 鼻中隔の前部は、毛細血管が豊富に分布していることに加えて粘膜が薄い
ため、傷つきやすく鼻出血を起こしやすい。
- 3 副鼻腔に入った埃等の粒子は、粘液に捉えられて絨毛の働きによって鼻
腔内へ排出される。
- 4 蝸牛の内部はリンパ液で満たされ、リンパ液の動きが平衡感覚として感知
される。

問 1 1

皮膚に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 角質層は、細胞膜が丈夫な線維性のセラミドでできた板状の角質細胞と、
ケラチンを主成分とする細胞間脂質で構成されており、皮膚のバリア機能を
担っている。
- 2 皮膚の色は、メラニン色素によるもので、真皮にあるメラノサイトで産生
され、太陽光に含まれる紫外線から皮膚組織を防護する役割がある。
- 3 皮下組織は、線維芽細胞とその細胞で産生された線維性の蛋白質からなる
結合組織の層で、皮膚の弾力と強さを与え、毛細血管や知覚神経の末端が通
っている。
- 4 汗腺には、腋窩などの毛根部に分布するアポクリン腺と、手のひらなど毛
根がないところも含め全身に分布するエクリン腺の二種類がある。

問 1 2

骨と筋組織に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 骨には、身体各部の支持、臓器保護、運動、貯蔵、造血の機能がある。
- b 骨格筋の疲労は、運動を続けることで、脂質が減少し、酸素や栄養分の供給不足が起こるとともに、脂質の代謝に伴って生成する乳酸が蓄積して、筋組織の収縮性が低下する現象である。
- c 骨格筋は体性神経系で支配されるのに対して、平滑筋及び心筋は自律神経系に支配されている。
- d 平滑筋は、筋線維を顕微鏡で観察すると横縞模様が見えるので横紋筋とも呼ばれる。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	正	誤	正	正

問 1 3

末梢神経系に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 自律神経系は、交感神経系と副交感神経系の2つに分類される。
- b 交感神経系は、体が食事や休憩等の安息状態となるように働く。
- c 自律神経系が効果を及ぼす各臓器・器官(効果器)は、それぞれ交感神経と副交感神経のいずれか一方の自律神経系に支配されている。
- d 副交感神経の神経伝達物質は、ノルアドレナリンである。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	誤	正	誤	誤
4	正	誤	正	誤
5	正	誤	誤	誤

問 1 4

医薬品の剤型ごとの服薬方法に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 顆粒剤は、口の中で唾液によってよく溶かして服用する。
- 2 トロース剤は、細かく噛んで小さくしてから服用する。
- 3 カプセル剤は、中身を必ず出してから服用する。
- 4 チュアブル錠は、口の中で舐めたり噛み砕いて服用する。水なしでも服用できる。

問 1 5

アドレナリン作動成分を含む医薬品を服用した場合に影響を受ける器官とその反応の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

[器官]	[反応]
1 気管支 ……………	狭窄 ^{さく}
2 心臓 ……………	心拍数増加
3 腸 ……………	運動亢進 ^{こう}
4 末梢血管 ……………	拡張(血圧降下)
5 目 ……………	瞳孔収縮 ^{どう}

問 1 6

医薬品の吸収に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 点眼薬や含嗽薬^{そう}は、摂取する医薬品が微量であるので、アレルギー性の副作用は発生しない。
- b 鼻腔内^{くう}に投与された医薬品は、その成分が吸収され、全身性の副作用が発生することがある。
- c 皮膚に適用する医薬品は、適用部位に対する局所的な効果を目的とするものであり、全身作用が現れることはない。
- d 医薬品の吸収は、主に小腸で行われるが、成分によっては、消化管粘膜に障害を起こすものもあるため、食事と服用の時期の関係は各医薬品の用法に定められている。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問 17

医薬品の代謝・排泄に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 消化管で吸収された医薬品の成分は、消化管の毛細血管から血液中に移行する。
- b 血漿蛋白質と結合し、複合体を形成している医薬品成分は、徐々に代謝されるとともに、腎臓で濾過され、排出される。
- c 複数の医薬品を併用し、遊離型の割合が増加すると、効き目が強くなりすぎたり、副作用を起こしやすくなる場合がある。
- d 排泄とは、体内で物質が分解されたり、他の物質と結合して不活化されたり、体外に排出されやすい水溶性物質に変化することである。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

問 18

中毒性表皮壊死症に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 全身が広範囲にわたって赤くなり、全身の 10% 以上に火傷様の水疱、皮膚の剥離、びらん等が認められる。
- b 一般用医薬品では、中毒性表皮壊死症のような重篤な副作用は起こらない。
- c ライエル症候群とも呼ばれている。
- d 発生頻度は、人口 10 万人当たり年間 1 ~ 6 人と報告されている。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

問 1 9

偽アルドステロン症に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

体内に塩分(ナトリウム)と水分が貯留し、体から(a)が失われたことに伴う症状であり、主な症状としては、尿量の(b)、手足の脱力、血圧上昇などがみられ、体が小柄な人や(c)において生じやすいとされている。

	a	b	c
1	カリウム	増加	高齢者
2	カルシウム	減少	小児
3	カルシウム	増加	高齢者
4	カリウム	増加	小児
5	カリウム	減少	高齢者

問 2 0

医薬品の副作用に関する記述の正誤について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品の副作用によっておきる消化性潰瘍^{かいよう}は、自覚症状が乏しい場合もある。
- b 医薬品の使用によって生じる肝機能障害は、医薬品の成分又はその代謝物の肝毒性による中毒性のものによって起こり、アレルギー性の肝機能障害はない。
- c 精神神経系に現れる副作用は、医薬品の作用によって中枢神経系が刺激され、物事に集中できない、落ち着きがなくなる、不眠などの症状を生じることがある。
- d 抗コリン作用のある成分が配合された医薬品の使用によって、眼圧上昇が誘発され、眼痛、目の充血とともに急激な視力低下を起こすことがある。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	誤
2	正	正	正	誤
3	誤	誤	正	正
4	誤	正	誤	誤
5	正	誤	正	正

薬事関係法規・制度

問 1

医薬品の販売に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 薬局開設者又は店舗販売業者は、配置による販売の方法で医薬品を販売しようとする場合には、別途、配置販売業の許可を受ける必要がある。
- b 店舗販売業の許可を受けようとする者は、薬剤師又は登録販売者でなければならない。
- c 配置販売業の許可は、配置により販売又は授与する業務について、配置しようとする区域をその区域に含む都道府県ごとに、その都道府県知事が与える。
- d 店舗販売業の許可は、許可を受けようとする店舗の構造設備にかかわらず、適切に医薬品を販売又は授与するために必要な体制が整ってさえいれば与えられる。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	誤	正	正

問2

店舗販売業に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品のうち第一類医薬品については、薬剤師が販売又は授与しなければならない。
- b 店舗を管理する者(以下「店舗管理者」という。)は、保健衛生上支障を生じるおそれがないように、医薬品を管理しなければならないが、その店舗に勤務する従事者まで監督する必要はない。
- c 店舗管理者は、その店舗の業務につき店舗販売業者に対して必要な意見を述べなければならない。
- d 店舗販売業の許可は、店舗ごとに受けなければならない。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	正	誤	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	正	正

問3

薬局等に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 薬局は、「薬剤師が販売又は授与の目的で調剤の業務を行う場所(その開設者が医薬品の販売業を併せ行う場合には、その販売業に必要な場所を含む。)」と定義されている。
- b 調剤を実施する薬局であっても、一般用医薬品の販売を併せ行う薬局は、医療法において医療提供施設とは位置づけられていない。
- c 薬局開設者は、薬局を実地に管理させる者(以下「管理者」という。)として、登録販売者を管理者とすることができない。
- d 店舗販売業者は、薬剤師に店舗を管理させている場合には、店舗の名称として薬局の名称を付してもよい。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	誤	正	正

問 4

医薬品の販売に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 店舗による販売とは、必ずしも店頭における販売に限られるものでなく、一定の条件の下で、購入者の求めに応じて医薬品を配送する等、店舗を拠点とした販売を行うことができる。
- b 医薬品の対面販売は、薬局にのみ定められている。
- c 店舗販売業の許可を受ければ、不特定の購入者への販売に供するために、予め医薬品を分包等しておくことができる。
- d 配置販売業者又はその配置員は、その住所地の都道府県知事が発行する身分証明書の交付を受け、かつ、これを携帯しなければ、医薬品の配置販売に従事してはならない。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	誤	正	正

問 5

医薬品の販売に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 店舗販売業者は、薬剤師が従事した場合には、調剤を行うことができる。
- 2 配置販売業者は、配置以外の方法でも医薬品の販売を行うことができる。
- 3 薬局開設者、店舗販売業者及び配置販売業者は、特定の購入者の求めに応じて、医薬品を開封して分割販売することができる。
- 4 店舗販売業者は、薬剤師が従事していても一般用医薬品以外の医薬品を販売することができない。

問6

医薬品の範囲に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 食品として販売等されている製品であっても、その成分本質(原材料)から医薬品とみなされることがある。
- b 錠剤、カプセル剤の形状の物は、すべて医薬品とみなされる。
- c 製品の容器に医薬品的な効能効果を記載した場合は、医薬品とみなされることがあるが、パンフレット等の広告宣伝物に記載しただけでは医薬品とみなされることはない。
- d 特別用途食品以外の食品において、特定の保健の用途に適する旨の効果が表示・標榜^{ほう}されている場合には、医薬品の効能効果を暗示させるものとみなされる。

1 (a、 b) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (c、 d)

問7

食品に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

食品とは、(a)及び医薬部外品以外のすべての飲食物をいい、そのうち(b)と栄養機能食品を総称して保健機能食品という。

保健機能食品は食生活を通じた(c)を目的として摂取されるものである。

	a	b	c
1	医薬品	特別用途食品	健康の保持増進
2	化粧品	特別用途食品	健康の保持増進
3	化粧品	特別保健用食品	疾病の治療
4	医薬品	特定保健用食品	健康の保持増進
5	化粧品	特別用途食品	疾病の治療

問 8

次に記述するもののうち、医薬品でないものはどれか。

- 1 人に寄生するシラミの防除に使用されるフェノトリンが配合されたシャンプー
- 2 手指及び器具の殺菌・消毒に用いられる液剤
- 3 歯周炎の予防に用いられる薬用歯みがき
- 4 動物の解熱鎮痛に用いられる顆粒剤
- 5 原液を用時希釈して用いられるハエの殺虫剤

問 9

医薬品等の製造販売又は販売に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品は、製造販売業の許可を受けた者でなければ製造販売してはならず、かつ、原則として品目ごとに承認を受けたものでなければならない。
- b 医薬部外品は、製造販売業の許可を受けた者でなければ製造販売してはならないが、原則として品目ごとに承認を受ける必要はない。
- c 医薬品を販売するには、薬局又は医薬品の販売業の許可が必要であるが、医薬部外品を販売するには、医薬品のような許可は必要ない。
- d 化粧品は、製造販売業の許可を受けた者でなければ製造販売してはならないが、販売するには、医薬品のような許可は必要ない。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	誤	正	誤	正
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	誤
5	正	誤	誤	正

問 1 0

一般用医薬品に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品の効能効果の表現は、症状で示されるのではなく、診断疾患名で示される。
- b 一般用医薬品の用法では、注射等の侵襲性の高い使用方法は用いられていない。
- c 一般用医薬品には、毒薬又は劇薬に該当するものはない。
- d 一般用医薬品には、人体に直接使用されない検査薬であっても、検体の採取に身体への直接のリスクを伴うもの(血液を検体とするもの等)は、認められていない。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

問 1 1

毒薬、劇薬を収める直接の容器又は直接の被包への記載に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 毒薬は黒地に白枠、白字をもって、その品名及び「毒」の文字が、劇薬は白地に赤枠、赤字をもって、その品名及び「劇」の文字が記載されていなければならない。
- 2 毒薬は白地に赤枠、赤字をもって、その品名及び「毒」の文字が、劇薬は黒地に白枠、白字をもって、その品名及び「劇」の文字が記載されていなければならない。
- 3 毒薬は白地に黒枠、黒字をもって、その品名及び「毒」の文字が、劇薬は白地に赤枠、赤字をもって、その品名及び「劇」の文字が記載されていなければならない。
- 4 毒薬は黒地に白枠、白字をもって、その品名及び「毒」の文字が、劇薬は赤地に白枠、白字をもって、その品名及び「劇」の文字が記載されていなければならない。

問 1 2

次の記述は、毒薬、劇薬に関する薬事法第 4 7 条の条文である。

()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

毒薬又は劇薬は、()未満の者その他安全な取扱いをすることについて不安があると認められる者には、交付してはならない。

- 1 12歳 2 14歳 3 16歳 4 18歳 5 20歳

問 1 3

薬事法第 4 6 条で、毒薬、劇薬を一般の生活者に対して販売又は譲渡する際には、当該医薬品を譲り受ける者から、文書の交付を受けなければ、これを販売し、又は授与してはならないと規定しているが、次のうち、この文書に記載する必要がない事項はどれか。

- 1 品名 2 使用目的 3 譲受人の住所
4 譲受人の年齢 5 譲受人の職業

問 1 4

一般用医薬品のリスク区分に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 第一類医薬品は、薬剤師が厚生労働省令で定める事項を記載した書面を用いて、購入者に情報提供を行わなければならない。
b 一般用医薬品を陳列する場合、第一類及び第二類医薬品は、それぞれ区分して陳列しなければならないが、第三類医薬品はその義務はない。
c 第二類医薬品は、薬剤師又は登録販売者が販売することができるが、情報提供は薬剤師が行わなければならない。
d 第三類医薬品は、日常生活に支障を来す程度の副作用を生じるおそれがあることが明らかとなった場合には、第一類又は第二類医薬品に分類が変更されることもある。

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

問 1 5

一般用医薬品の直接の容器又は直接の被包に記載が義務づけられていないものはどれか。

- 1 製造販売業者等の氏名又は名称及び住所
- 2 製造施設の名称及び所在地
- 3 製造番号又は製造記号
- 4 日局(日本薬局方)に収載されている医薬品以外の医薬品における有効成分の名称及びその分量
- 5 重量、容量又は個数等の内容量

問 1 6

法定表示事項(薬事法第44条第1項及び第2項、第50条並びに第51条の規定に基づく記載事項をいう。)及び添付文書等に記載されていなければならない事項に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 他の文字、記事、図画又は図案に比較して見やすい場所に記載されていなければならない。
- b 副作用の相談時など医師等が理解しやすいよう専門用語を用いることが望ましい。
- c 法定表示事項は、特に明瞭^{りょう}に記載されていなければならない。
- d 海外で製造された医薬品に限り、邦文で記載しなくてもよい。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	誤	誤	誤	正
4	正	誤	正	誤
5	正	誤	正	正

問 17

薬事法第68条により承認等の前にその名称、製造方法、効能、効果又は性能に関する広告が禁止されているものはどれか。

- 1 医薬品、医薬部外品
- 2 医薬部外品、医療機器
- 3 医薬品、医療機器
- 4 医薬部外品、化粧品
- 5 医薬品、化粧品

問 18

医薬品の組み合わせ販売に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 販売側の都合による在庫処分等の目的で、医薬品を組み合わせ販売を行うことは認められない。
- b 組み合わせた医薬品について十分な情報提供が可能であり、かつ、組み合わせることに合理性が認められるものであっても、購入者の利便性のために医薬品とガーゼなど医薬品以外の物品を組み合わせ販売することは認められない。
- c 購入者の利便性のためであれば、同じ効能効果を持つ医薬品を組み合わせ販売することができる。
- d 複数の医薬品を組み合わせ販売する場合、薬事法に基づく法定表示が組み合わせた場合に使用する容器の外から見えるようにする必要がある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	誤	誤	誤	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	正	誤	正	誤

問 1 9

医薬品の販売に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品を景品として授与することは、医薬品の過度の消費や乱用を助長するおそれがあるため原則認められていない。
- b 医薬品の効能、効果に関して、虚偽又は誇大な広告は、明示的であると暗示的であるとを問わず禁止されている。
- c 店舗販売業の許可を受けた店舗の出張所であれば、医薬品を販売するために必要な許可を受けることなく、その出張所を拠点として医薬品を販売することができる。
- d 配置販売業の許可を取得すれば、医薬品を現金行商(現金売り)することが可能である。

1 (a , b) 2 (a , c) 3 (b , d) 4 (c , d)

問 2 0

薬事法による改善命令等の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 都道府県知事は、薬局開設者に対して、その構造設備が基準に適合しない場合、その構造設備の改善を命ずることができる。
- b 都道府県知事は、薬局開設者に対して、その構造設備によって不良医薬品を生じるおそれがある場合には、その構造設備の改善を命じなければならない。
- c 都道府県知事は、薬局の管理者について、その者に薬事に関する法令に違反する行為があったとき、その薬局の開設者に対して、管理者の変更を命ずることができる。
- d 都道府県知事は、医薬品を業務上取り扱う者に対して、不良医薬品等の廃棄、回収その他公衆衛生上の危険の発生を防止するに足る措置を採るべきことを命ずることができる。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	正	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	正	正	正	誤
5	正	誤	正	正

医薬品の適正使用・安全対策

問 1

医薬品の保管及び取扱い上の注意に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 錠剤、カプセル剤、散剤は、冷蔵庫内で保存するのが望ましい。
- b 家庭内において、小児が容易に手に取れる場所には医薬品を保管しない。
- c 誤用の原因や医薬品として適正な品質が保持できなくなるおそれがあるため、他の容器に入れ替えない。
- d 眼科用薬は、使用に注意すれば、複数の使用者間で使い回しても問題はない。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

問 2

一般用医薬品の添付文書に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 添付文書は、2年に1回改訂される。
- b 添付文書は、必要なときにいつでも取り出して読むことができるように保管される必要がある。
- c 使用上の注意は、「してはいけないこと」、「相談すること」及び「その他の注意」から構成され、添付文書の最後に備考で付記されている。
- d 販売名に薬効名が含まれている場合は、薬効名は省略できる。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	誤	正

問3

一般用医薬品の添付文書における用法・用量及び成分・分量の記載に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 用法・用量の項目には、年齢区分、1回用量、1日の使用回数等について一般の生活者に分かりやすいように、工夫して記載されている。
- b 点眼剤に類似した容器に収められた外用液剤では、その容器本体に点眼剤と区別可能な表示が目立つように記載されている。
- c 妊娠検査薬の成分・分量の項目には、専門家による購入者等への情報提供の参考として、検出感度も併せて記載されている。
- d 医薬品の添加物は、製剤としての品質、有効性及び安全性を高めることを目的として配合されているが、アレルギーの原因になり得ることがある。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	誤	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	正	正	正	正
5	誤	誤	正	正

問4

医薬品の成分と一般用医薬品の添付文書における「次の人には使用(服用)しないこと」欄の組み合わせについて、正しいものはどれか。

	[成分]	[「次の人には使用(服用)しないこと」欄]
1	インドメタシン	ぜんそくを起こしたことがある人
2	塩化リゾチーム	妊娠又は妊娠していると思われる人
3	オキセサゼイン	透析療法を受けている人
4	ヒマシ油	15歳未満の小児
5	アミノ安息香酸エチル	糖尿病と診断を受けた人

問5

一般用医薬品の添付文書に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品の販売等に従事する専門家から直接情報提供を受けた購入者以外の家族等がその医薬品を使用する際には、添付文書に目を通し、使用上の注意等に留意して適正に使用することが特に重要である。
- b 販売名の上部には、「使用にあたって、この説明文書を必ず読むこと。また、必要なときに読めるよう大切に保存すること。」等の文言が記載されている。
- c 医薬品を使用する人に、その製品の概要を分かりやすく説明することを目的として、効能・効果、用法・用量又は成分・分量等からみた特徴が必ず記載されている。
- d 「使用上の注意」「してはいけないこと」及び「相談すること」の各項目の見出しには、それぞれ製造販売業者独自の標識的マークが付されている。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

問6

医薬品の製品表示に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品によっては添付文書の形ではなく、「用法、用量その他使用及び取扱い上必要な注意」等の記載を外箱等に行っている場合がある。
- b 外箱等には、「使用にあたって添付文書をよく読むこと」等、添付文書の必読に関する事項が記載されている。
- c 配置販売される医薬品では、「使用期限」に加え「配置期限」の記載も必要である。
- d 購入者によっては、購入後すぐ開封せずにそのまま保管する場合や持ち歩く場合があるため、添付文書を見なくても適切な保管がなされるよう、その容器や包装にも、保管に関する注意事項が記載されている。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

問7

安全性情報に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の製造販売業者は、薬局開設者、店舗販売業者、配置販売業者及びそこに従事する薬剤師や登録販売者に対して、医薬品の適正な使用のために必要な情報を提供するように努めなければならない。
- b 一般用医薬品に関する緊急安全性情報は、発出されたことがない。
- c 厚生労働省は、医薬品(一般用医薬品を含む)、医療機器等による重要な副作用、不具合等に関する情報をとりまとめ、「医薬品・医療機器等安全性情報」として、広く医薬関係者向けに情報提供を行っている。
- d 独立行政法人医薬品医療機器総合機構の「医薬品医療機器情報提供ホームページ」には、一般用医薬品に関連した情報が掲載されている。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

問8

医薬品の緊急安全性情報に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

緊急安全性情報は、医薬品又は医療機器について重要かつ緊急な情報伝達が必要な場合(予期せぬ重大な副作用等)に、(a)からの指示に基づいて、製造販売元の製薬企業等からその医薬品又は医療機器を取り扱う医薬関係者に対して、(b)に原則として直接配布し、情報伝達されるものである。A4サイズの黄色地の印刷物で(c)とも呼ばれている。

	a	b	c
1	厚生労働省	1週間以内	ドクターレター
2	都道府県知事	1週間以内	リスクレター
3	厚生労働省	4週間以内	ドクターレター
4	都道府県知事	4週間以内	リスクレター
5	厚生労働省	4週間以内	リスクレター

問9

購入者等に対する情報提供に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の販売等に従事する専門家は、購入者等に対して、常に最新の知見に基づいた適切な情報提供を行うため、得られる情報を積極的に収集し、専門家としての資質向上に努めることが求められる。
- b 医薬品の販売に従事する専門家は、購入者等に対して、科学的根拠に基づいた正確なアドバイスを与え、セルフメディケーションを適切に支援することが期待されている。
- c 配置販売に従事する登録販売者は、その販売形態から、医薬品の適正使用のための情報を提供する必要はない。
- d 情報通信技術の発展・普及に伴って、一般の生活者においても、医薬品の有効性、安全性等に関して速やかな情報入手のほか、相当程度専門的な情報にも容易にアクセスできる状況となっている。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	誤

問10

医薬関係者が、医薬品・医療機器等安全性情報報告制度に基づいて行う報告に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品との因果関係が必ずしも明確でない健康被害は、報告する必要はない。
- b 報告は、都道府県知事に行わなければならない。
- c 報告は、定められた期間までに行わなければならない。
- d 報告書の送付は、FAXでも行うことができる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	誤	正	正	正
3	誤	誤	誤	正
4	誤	正	正	誤
5	正	誤	誤	正

問 1 1

医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の「医薬品安全性情報報告書」に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 報告は、医薬品、医療機器だけでなく、化粧品、医薬部外品についても行うことが求められている。
- b 報告書は、患者の氏名ではなく、イニシャルを記載する様式となっている。
- c 患者の他の医薬品による過去の副作用歴がわかっている場合でも、それは記載する必要がない。
- d 重篤な症例については、原則として厚生労働省から独立行政法人医薬品医療機器総合機構を通じて当該製品を供給する製造販売業者へ情報提供される。

	a	b	c	d
1	誤	誤	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	正	正	誤	誤
5	誤	正	正	正

問 1 2

医薬品・医療機器等安全性情報報告制度に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

本制度は、1967年3月より、約3,000の(a)をモニター施設に指定して、厚生省(当時)が直接副作用報告を受ける(b)制度としてスタートし、その後、医薬品等安全性情報報告制度として拡充・強化され、2002年7月の薬事法改正により、医師や薬剤師等の医薬関係者による副作用等の報告が義務化された。

	a	b
1	医療機関	医薬品健康被害モニター
2	医療機関	医薬品副作用モニター
3	医薬品販売業者	医薬品副作用モニター
4	薬局	医薬品健康被害モニター
5	薬局	医薬品副作用モニター

問 1 3

企業から厚生労働大臣に報告しなければならない副作用等に関する記述のうち、15日以内に行わなければならないものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品によるものと疑われる副作用症例のうち、使用上の注意から予測できないもので、重篤な事例
- b 医薬品によるものと疑われる副作用症例のうち、使用上の注意から予測できるもので、新有効成分含有医薬品として承認後5年目に発生した重篤(死亡を除く)な事例
- c 外国において製造、輸入又は販売の中止、回収、廃棄その他の保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するための措置が実施された事例
- d 副作用・感染症により、癌その他の重大な疾病、障害若しくは死亡が発生するおそれがあることを示す研究報告

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

問 1 4

企業からの市販後の副作用等報告制度に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

なお、2か所の(a)、(b)内はどちらもそれぞれ同じ字句が入る。

新一般用医薬品には、(a)と(b)があり、(a)については、(c)年を超えない範囲で厚生労働大臣が承認時に定める一定期間に承認後の使用成績等を製造販売元の製薬企業が集積し、厚生労働大臣へ提出する制度〔(d)制度〕が適用され、また、(b)については、承認条件として承認後の一定期間(概ね3年)、安全性に関する使用成績の調査及び調査結果の報告が求められている。

	a	b	c	d
1	スイッチOTC	ダイレクトOTC	5	再評価
2	ダイレクトOTC	スイッチOTC	5	再審査
3	スイッチOTC	ダイレクトOTC	10	再評価
4	ダイレクトOTC	スイッチOTC	10	再審査
5	ダイレクトOTC	スイッチOTC	10	再評価

問 1 5

次の医薬品副作用被害救済制度の救済給付金のうち、請求期限の定められていないものはどれか。

- 1 医療費
- 2 医療手当
- 3 障害年金
- 4 遺族年金
- 5 葬祭料

問 1 6

医薬品副作用被害救済制度に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による被害者の迅速な救済を図るため、国の社会的責任に基づく公的制度として運営が開始された。
- b 救済給付業務に必要な費用は、製薬企業から年度ごとに納付される拠出金が充てられるが、事務費についてはすべて国庫補助により賄われている。
- c 独立行政法人医薬品医療機器総合機構においては、裁判上の和解が成立したスモン患者に対する健康管理手当や介護費用の支払業務も行っている。
- d 医薬品副作用被害救済制度による給付の種類は、医療費、医療手当、障害年金、障害児養育年金、遺族年金、葬祭料の6種類である。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	正	誤

問 17

医薬品副作用被害救済制度における救済給付の支給対象となるものの記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の副作用による疾病により、入院を必要とする程度の医療を受けた場合
- b 医薬品の副作用による後遺障害(日常生活に制限を受けない程度のものを含む)が残った場合
- c 医薬品を適正に使用して生じた健康被害であって、特に医療機関での治療を要せずに寛解した場合
- d 健康食品として販売されたものや個人輸入により入手された医薬品の使用により健康被害が生じた場合

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	正	正	誤	正
4	正	誤	誤	誤
5	誤	誤	誤	誤

問 18

次の医薬品のうち、医薬品副作用被害救済制度の対象となるものはどれか。

- 1 殺虫剤
- 2 殺菌消毒剤(人体に直接使用するもの)
- 3 一般用検査薬
- 4 殺鼠剤
- 5 日本薬局方 精製水

問 1 9

医薬品による副作用事例に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

なお、記述中の年月については、誤りはないものとする。

- a 解熱鎮痛成分としてアスピリン、スルピリンが配合されたアンプル入りかぜ薬の使用による重篤な副作用(ショック)で、1959年から1965年までの間に、計38名の死亡例が発生した。
- b 小柴胡湯しょうさいこうとうによる間質性肺炎については、1991年4月以降、使用上の注意に記載されていたが、その後、小柴胡湯しょうさいこうとうとインターフェロン製剤の併用例による間質性肺炎が報告されたことから、1994年1月、インターフェロン製剤との併用を禁忌とする旨の使用上の注意の改訂がなされた。
- c 2003年5月までに、一般用かぜ薬の使用による間質性肺炎での死亡が、26例報告された。
- d 2000年5月米国において、塩酸フェニルプロパノールアミン(P P A)含有医薬品を使用した場合に、出血性脳卒中の発生リスクとの関連性が高いとの報告がなされた。

1 (a , b) 2 (a , c) 3 (b , d) 4 (c , d)

問 2 0

医薬品の適正使用のための啓発活動に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

薬物乱用防止を一層推進するため、毎年6月20日からの(a)(b)普及運動が実施されている。

また、医薬品の特質及び取扱いなどの正しい知識の普及啓発を行うことにより、保健衛生の維持向上に貢献することを目的として、毎年10月に(c)が実施されている。

	a	b	c
1	1 か月間	「ノー。ドラッグ。」	医薬品適正使用推進週間
2	1 週間	「ノー。ドラッグ。」	薬と健康の週間
3	1 か月間	「ダメ。ゼッタイ。」	薬と健康の週間
4	1 週間	「ダメ。ゼッタイ。」	医薬品適正使用推進週間
5	1 か月間	「ダメ。ゼッタイ。」	医薬品適正使用推進週間

午 前

平成 2 0 年度第 1 回登録販売者試験 正答

兵庫県

医薬品に共通する特性と基本的な知識

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 1 0
2	3	1	3	3	2	3	4	3	解なし
問 1 1	問 1 2	問 1 3	問 1 4	問 1 5	問 1 6	問 1 7	問 1 8	問 1 9	問 2 0
3	5	3	2	5	1	4	1	4	2

主な医薬品とその作用

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 1 0
1	3	5	4	5	5	3	3	1	3
問 1 1	問 1 2	問 1 3	問 1 4	問 1 5	問 1 6	問 1 7	問 1 8	問 1 9	問 2 0
5	2	4	3	2	2	4	3	3	解なし
問 2 1	問 2 2	問 2 3	問 2 4	問 2 5	問 2 6	問 2 7	問 2 8	問 2 9	問 3 0
2	5	2	3	3	3	3	1	3	2
問 3 1	問 3 2	問 3 3	問 3 4	問 3 5	問 3 6	問 3 7	問 3 8	問 3 9	問 4 0
4	4	2	3	1	1	4	3	1	3

午後

平成20年度第1回登録販売者試験 正答

兵庫県

人体の働きと医薬品

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
5	1	4	3	3	2	2	3	1	2
問11	問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	問19	問20
4	3	5	4	2	3	1	2	5	5

薬事関係法規・制度

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
4	2	4	2	4	2	4	3	3	4
問11	問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	問19	問20
1	2	4	2	2	4	3	3	1	5

医薬品の適正使用・安全対策

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
3	5	4	1	1	1	2	3	1	3
問11	問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	問19	問20
2	2	2	4	3	5	4	2	3	3